

安全データシート

1. 製品及び会社情報	製品名	: フロアエース 5000
	供給者の会社名称	: ヤヨイ化学工業株式会社
	住所	: 〒939-1272 富山県高岡市下麻生 4649
	担当部門・担当者	: 品質管理部 荒崎
	電話番号	: 0766-36-2800
	FAX 番号	: 0766-36-2050
	緊急連絡電話番号	: 0766-36-2800
	推奨用途	: 接着剤

2. 危険有害性の要約	GHS 分類	: 現時点ですべての項目に対して「区分に該当しない」、「分類できない」である。
	GHS ラベル要素	
	シンボル	: なし
	注意喚起語	: なし
	危険有害性情報	: なし
	注意書き	: “4. 応急措置”以降の項目を参照ください。

3. 組成及び成分情報	単一製品・混合物の区別	: 混合物
	化学名又は一般名	: アクリル樹脂系エマルジョン形接着剤

成分及び含有量

成分	含有量	CAS.No.	官報公示整理番号 化審法
アクリル樹脂	18~24%	-	-
粘着付与樹脂	9~15%	-	-
無機充填剤 (炭酸カルシウム)	40~48%	471-34-1	(1)-122
水	20~28%	7732-18-5	-
防腐・防カビ剤	0.4%以下	-	-

※ホルムアルデヒド等厚生労働省が指定する化学物質（13 物質）は使用していません。

※ホルムアルデヒド放散量に関する表示： F☆☆☆☆（JIS A 5536）

4. 応急措置	吸入した場合	: 蒸気、ミスト等を吸入して気分が悪くなった場合は空気の新鮮な場所へ移動させて安静、保温に努め、場合によっては医師の手当てを受ける。
	皮膚に付着した場合	: 接触部位を水・石鹸で十分に洗浄する。 場合によっては医師の診察を受ける。
	眼に入った場合	: 直ちに流水で数分間注意深く洗い、場合によっては医師の手当てを受ける。 コンタクトレンズを着用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
	飲み込んだ場合	: 誤って飲み込んだ場合は、微温水を与えて吐き出させる。 場合によっては医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置	適切な消火剤	: 水、炭酸ガス、粉末（ドライケミカル）、耐アルコール泡等
	使ってはならない消火剤	: 特になし
	消火方法	: このもの自体には可燃性はない。 水分蒸発後の乾燥物は可燃性であり、燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、注水、水噴霧、もしくは各種消火剤を用いて風上から消火する。
	保護具及び予防措置	: 消火の際は、呼吸保護具、耐熱着衣等を着用する。

6. 漏出時の措置	人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の 方法及び機材	: 作業の際は適切な保護具（保護手袋等）を着用する。 : 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。 洗浄した汚水を含め、河川等に流出させない。もし、河川等に流出した場合は、 速やかに所轄監督庁等に届け出る。 : 漏洩物を空容器に回収し、更にオガクズ、ウエス、乾燥砂等に吸収させ回収する。
7. 取扱い及び 保管上の注意	取扱い 衛生対策 保管	: 直接皮膚に触れたり、手を切らないよう手袋等保護具を着用すること。 換気のよい場所で取扱うこと。 異物の混ざった接着剤を容器に戻さないこと。 使用後の容器は、中味を極力使いきった後、付着している接着剤を乾燥させてから 焼却処分、もしくは産業廃棄物として廃棄すること。 : 飲み込みを避けること。 取扱い後は、手、顔等をよく洗うがいをすること。 : 直射日光を避け屋内の冷暗所に定めて保管すること。 凍結させないこと。 保管時の温度は 5℃～40℃の範囲のこと。 （車中などでの保管は避けること） 水の掛かる場所や湿度の高い場所での保管は避けること。 開封後は速やかに使い切ること。残った場合は、密閉して冷暗所に保管し、速やかに 使用すること。 子供の手の届かないところに保管すること。
8. ばく露防止及び 保護措置	管理濃度 許容濃度 設備対策 保護具	: 設定されていない。 : 設定されていない。 : 状況に応じ、局所排気装置等を使用すること。 : 使用時、保護具を着用する。 ・保護マスク : 状況に応じ着用する。 ・保護手袋 : ゴム又は樹脂製が望ましい。 ・保護眼鏡 : ガラス又は樹脂製のゴーグルタイプが望ましい。 ・保護衣 : 樹脂又は厚手の布地の長袖、長ズボンを着用することが望ましい。
9. 物理的及び化学的性質	物理状態 色 臭い 融点／凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 可燃性 爆発下限界及び爆発上限界 /可燃限界 引火点 自然発火点 分解温度 p H 粘度 溶解度 n-オクタノール／水分配係数 蒸気圧 比重（密度） 相対ガス密度 粒子特性	: 液体（ペースト状） : 灰白色 : アクリル臭 : 0℃ [水] : 100℃ [水] : 非乾燥状態では燃焼しない。 : データなし : 100℃未満では引火しない。 : データなし : データなし : 7.2～8.2 (23℃) : 22～32Pa・s (23℃/20rpm) : 水で希釈可能、乾燥物は水で軟化。 (実測による数値データなし) : データなし : データなし : 1.20～1.40 (23℃) : データなし : データなし
10. 安定性及び反応性	反応性 化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件	: 通常の実験条件下においては反応しない。 : 通常の実験条件下においては安定である。 : 現在のところ知見なし。 : 現在のところ知見なし。

混触危険物質 : 現在のところ知見なし。
危険有害な分解生成物 : 現在のところ知見なし。

11. 有害性情報

急性毒性 : 成分の全ての参考値が分類できない、知見なし、もしくは閾値未満である。
皮膚腐食性／刺激性 : 皮膚に付着したままにすると炎症をおこす可能性は否定できない。
眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性 : 眼に付着したままにすると眼刺激を受ける可能性は否定できない。
呼吸器感作性又は
皮膚感作性 : 現在のところ知見なし。
生殖細胞変異原生 : 現在のところ知見なし。
発がん性 : 現在のところ知見なし。
生殖毒性 : 現在のところ知見なし。
特定標的臓器・全身毒性
(単回ばく露) : 現在のところ知見なし。
特定標的臓器・全身毒性
(反復ばく露) : 現在のところ知見なし。
誤えん有害性 : 現在のところ知見なし。

12. 環境影響情報

生態毒性 : 河川等に流出した場合、接着剤中の樹脂の付着により呼吸困難を起こし、魚類が死亡する場合がある。
残留性・分解性 : 現在のところ知見なし。
生態蓄積性 : 現在のところ知見なし。
土壤中の移動性 : 現在のところ知見なし。
オゾン層への有害性 : モントリオール議定書の附属書に記された成分は含まれていない。

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに都道府県条例等に基づく許可を受けた処理業者に委託する。製品使用後の容器や拭き取ったウェス等を焼却するときは、付着した接着剤を乾燥させてから焼却する。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 分類基準に該当しない。
品名(国連輸送品名) : 分類基準に該当しない。
国連分類 : 分類基準に該当しない。
容器等級 : 分類基準に該当しない。
海洋汚染物質 : 該当しない
輸送又は輸送手段に関する
特別の安全対策 : 容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないよう
積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報 : 規制情報なし

15. 適用法令

消防法 : 該当しない
労働安全衛生法 : 該当しない
化学物質管理促進法
(PRTR法) : 該当しない
毒物及び劇物取締法 : 該当しない

16. その他の情報

JIS A 5536 (床仕上げ材用接着剤) 認証品 認証番号 CE0408005
有効期間 : 6ヶ月間 (未開封の場合)

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

参考資料 : JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

独立行政法人製品評価技術基盤機構
「NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)」
原材料メーカー発行の各種 SDS